

第 1 2 回 霞ヶ関地区

川合市長と語り合うタウンミーティング

日時：平成 2 1 年 8 月 5 日（水）

午後 6 時 3 0 分～ 8 時 3 0 分

場所：霞ヶ関公民館

対象地区町字名

大字笠幡、的場一丁目、的場二丁目、大字的場の一部、大字安比奈新田、かすみ野一丁目、かすみ野二丁目、かすみ野三丁目

参加者

1 性別

男 性	37
女 性	3
無回答	0
合 計	40

2 年齢別

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
男 性	0	1	2	1	4	20	9	0	37
女 性	0	0	0	0	0	2	1	0	3
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	1	2	1	4	22	10	0	40

3 職業別

	学生	会社員 公務員	自営業	主 婦	農 業	その他	無回答	計
男 性	0	4	8	0	2	23	0	37
女 性	0	0	0	2	0	1	0	3
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	4	8	2	2	24	0	40

出席者

市長、大野副市長、石川副市長、広報監、総合政策部副部長、総務部長、市民部長、福祉部長、環境部長、都市計画部長、建設部長、教育総務部長

意見数

1 会場

発言者数... 10人 複数回発言した方も1人として集計しています。

意見内容

分類	件数	内容	頁
教育・文化	2	・仮称霞ヶ関西公民館について ・学区について	3 11
道路・交通	1	・笠幡地区の都市基盤整備について	4
施設運営	1	・運動施設の予約方法について	11
市職員	2	・職員の削減について ・職員について	8 9
災害	1	・震災時の連携について	3
税金	1	・都市計画税について	4
その他	5	・経費削減について ・市長の任期について ・地盤沈下について ・市町村合併について ・自治会役員の担い手について	5 5 5 7 10
計	13		

意見交換（要約）

《仮称霞ヶ関西公民館》

意見 霞ヶ関西公民館建設事業の計画をお願いしたいと思います。平成 19 年の 12 月に、川越市と当時の自治会長さんが 17 名集まりまして建設懇話会を立ち上げてまいりました。その建設懇話会の意見として、去年の 11 月に候補地の提言、そして整備内容について提案書を提出してあります。ただ、その後の流れが全然見えません。

地元としましても、予備委員会とかつくってもらえれば積極的に参加して、市と意見を詰めていきたいと思います。

有山教育総務部長 平成 20 年 11 月 16 日に、仮称霞ヶ関西公民館の整備について提言書をいただいております。主な内容は、建設候補地について、地域住民が利用しやすい公民館とすること、施設内容については利用者団体等の意見を聞くことと提言されております。川越市といたしましては、提言書にある建設候補地について市の方針決定を行った後に、建設候補地の地質調査及び測量を行いたいと考えております。また、建設計画に向けての地元調整を行う必要がありますことから、地元有識者からなる建設検討懇話会を設置しまして、具体的な協議をいただきたいと考えております。

なお、従前からお話ししてありますとおり、大東地区にも公共施設が建設されますので、その後とさせていただきたいと思います。重ねてご理解を賜りたいと思います。

《震災時の連携》

意見 JR 川越線が的場下組自治会地区の真ん中を貫通しております。7、8 年前に、荷電事故によりまして踏切が約 3 時間遮断したことがありました。通過車両が通れなくなりますので、右往左往の状態が続くわけですが、その時間がかかなり長く続いたわけですが。交通、流通は大変支障を来しました。

通過車両の迂回とか誘導というのをどこまでできるのかということがあろうかと思うのですが、先進の事例等を JR に聞きましたところ、わからないと、全国的にもそのような事例はないということでございました。市のマニュアルも整理されておりますが、個別の地区の事情に対しては対応できないような内容でございます。震災が発生した場合に、この通過交通にどのように対処すればよろしいのか、鉄道会社または行政、消防、そういった機関とどのような連携をとればよろしいのか、その辺を担当部署の方にお調べいただきまして、ご回答をいただきたいと思います。

佐藤総務部長 災害時における防災面の大きな課題の一つだと私も考えておりまして、長時間の遮断ということになると、通行に支障を来すということは明らかです。

踏切を管理している鉄道管理者、それから道路管理者、警察、消防、行政、これらの連携がこの問題についてどういう形で図れるか、これは我々も解決しなければならないと考えています。

J R 東日本本社と沿線 4 市で構成しております J R 川越線整備促進協議会という組織がございますので、これは沿線 4 市の踏切にも多分共通している課題ではないか思いますので、沿線 4 市とこの問題を共通の課題として上げまして、J R の本社に出向いた際に、J R の考え方をお聞きしていきたいと考えております。

それから、当然のことながら、現地にも我々の担当職員を向かわせまして、その辺の問題点をもう少し詳しく教えていただきたいと思います。

《笠幡地区の都市基盤整備、都市計画税》

意見 ご承知のように、この笠幡地区は発展がおくれております。都市基盤の整備がおくれ、消防自動車等も入れない細い道路や日高街道の初雁橋付近、国道 16 号に抜ける八瀬大橋の交通渋滞は目を覆うばかりであります。我々笠幡地域に住んでいる住民は、都市計画税が下げられたために投資が我々のところにされずに、笠幡地域の振興発展を阻害しているのではないかと、そういう疑いを持っておりますので、この辺の件につきまして、都市計画税とあわせて市長の考え方をお聞きしたいと思います。

川合市長 霞ヶ関の、特に西部地域に努力をしてこなかった面があるということはいろいろ伺っておりますし、重々承知しております。すぐにといいわけにはまいりませんが、財源を確保して、例えば霞ヶ関西公民館の問題もそうですし、清掃センターの跡地の問題もそうですし、そういう問題を一つ一つ解決していく中で、整備を進めていきたいと考えておりますので、その点についてはご容赦いただきたいと思います。

都市計画税の問題については、16 年前に 0.3% から 0.2% へ引き下げられたまま今まで来ておりまして、税率を下げなければ累計で約 200 億円を超える税収があったはずであるという試算は出ておりまして、ある時期から 0.3% に戻してもよかったのではないだろうかという思いはございます。

川越市の財政状況は決して豊かではないという中で、有識者懇話会というところで、都市計画税を 0.3% に戻すのはいかがなものであろうかと、会議を開かせていただきました。戻すのはいいけれども、そのお金を使って具体的にこういうことをやります。こういうことができますということを、皆様方によく知らせてくださいという意見が多かったです。都市計画税の税率の問題については検討中というところでございますが、検討経過や検討結果どうなったかという点につきましては、なるべく早く皆様方にお知らせしたいと考えております。

《経費削減、市長の任期》

意見 市長、副市長の報酬を 20%、10% カットいたしましたと、立派な決断ではないかと思いましたが、それ以外にもまだまだ削減方法はあるのではないかと考えていただきます。そちらにいられる大勢のお偉さん方、また市議会議員、議員に至っては議会の会期中以外は家にいまして商売なりしているはずですよ。自分の報酬 20% のカットだけではなく、まだまだ削減しなければならないかなというところが見られますので、その辺のところはどんなものなのでしょうか。

それから、任期について 3 期 12 年以上は務めませんと言われておりますが、これはずっと続けていくのでしょうか。その辺が知りたいのですが、いかがでしょうか。

川合市長 任期は 3 期 12 年を最長とするという趣旨の条例を提案して承認いただきましたが、この条例ができたときの在任者、つまり私にしか適用しないという内容でございます。地方自治法との整合性の問題で、ほかの人にまで効力を及ぼせるような条例をつくることはできないということになっておりまして、努力目標として 3 期に区切りますという条例でございます。努力目標と言っても、12 年たったら考えが変わりましたということは決して申しませんので、それは覚えておいていただきたいと思います。

それともう一つ、ほかにも削減できる場所はあるのではないかと、それを一つ一つチェックしているところで、例えば管理職手当を一定程度カットさせてもらうなど、検討を始めたところでございます。それから職員には無料で通勤のための駐車場を貸しています。それについても今年度中には手をつけたいと考えております。

議員さんにつきましては政務調査費の点について、できれば議員さん同士で、今までと違うようなやり方でやってほしいということは考えております。ただ、本業を持っているから報酬をカットとか、私はそういう考え方はしておりません。いずれにしても、その辺の問題は議員さんのほうで考えていただけるだろうという見通しであります。

《地盤沈下》

意見 十数年前、うちのすぐ前で水道本管が破裂しました。連絡したにもかかわらず、市は十数時間とめないで、現在はうちと隣が相当傾いています。それで市に苦情の申立てをしているのですが、市のほうは全く認めようとしませんね。

いろんな大学の教授にも状況を説明して意見をもらいました。そんなに年数がたってから急激に沈下するというのは漏水しかないんだということを聞いております。

専門業者に頼んで調査もしていただきました。その報告書には漏水が原因だとはっきりうたってあるんですが全く譲らないんです。市のほうでも調査しますということになったんですが、私が自費で出した調査報告書をほかの業者に見させて、それで云々と。

現場を見ないのかと聞いたんですが、結果的には現場を見させない、こういう表現をするんです。給水課とやり合っていてもらちが明きませんので、近いうちに市長さんにじっくり説明して十分理解していただきたいと思います。その機会をご指示いただきたいと思うんです。

意見 相談を受けましたのできょう参加させていただいております。上水管破裂、また下水工事、あるいは側溝のゆがみ等から地下に浸水したと、その後に大きく地盤沈下が起きて、今現在ご家族で住めないような状況になっています。市に対処交渉を持ち込みまして、既に2年経過いたしておりますが、なかなか結論が見出せないということに現在なっております。大学教授の説明にもありますが、間違いなく地盤沈下は上水管の破裂だと、そして浸透した水によるものだという結論をいただいております。早く安心して生活できるような解決策を見出していきたいと思います。

染谷建設部長 ことしの4月まで事業推進部の部長をしていました。先ほど言っていましたように、業者に頼んで調査をした書類を持ってきていただきましたので、その内容について部として調査いたしました。その中で、ちゃんとした地質屋さんにその見解について調べてもらいたいという申し出を昨年度いただいております。

本年度にその調査をいたしますと、それはお話し合いの中で約束したと思うのです。そして、今現在調査をしている段階でございます。その調査の結果が出ましたら、当然ご連絡を申し上げまして、その結果につきまして協議させていただくものと思います。

川合市長 私は就任してから報告を受けました。うろ覚えで申し上げては失礼かと思うのですが、漏水事故があった時点と、地盤沈下が起こっているという申し出との間には、私の記憶では4、5年の開きがあるという報告を受けています。そのようなことから、果たして漏水事故と地盤沈下、傾きとの間に因果関係があるのだろうかという部分があって、交渉が長引いてきたと聞いております。

ご自分で地盤調査会社に調査をさせて、その結果は、漏水事故が原因だという結論が出ているという報告も伺っております。ただし、市の立場としては、期間が長かったとか、さまざまな条件から考えて、そう簡単に漏水事故が原因だと、専門家であっても断言できるのかどうかを検証させていただきたいということで、つくってもらった調査報告書を検証してもらっている段階でございます。

時間をとって直接お話を伺う機会を設けることは、私のほうとしてはかまいません。ただ市の立場としては、だれが見てもはっきりした根拠がある場合でないと、賠償金を払うにしても、それは税金ですから、ほかの市民の皆様方の納得が得られないということになってしまうという心配もございますので、そういう立場であるということとはご理

解いただきたいと思います。

意見 市は調査をしているということですが、現地を見させないという、こういう条件です。それで調査の結果を出そうとしている、それは調査と言えるものなのでしょうか。

川合市長 今、市がやっていることは調査会社に頼んで作成してもらった調査報告書の内容が正確なものであるか、簡単に言えば漏水以外の原因についての検討をほとんどしていないで決めていると受けとめたのです。したがって、こういう結論を導き出したことが妥当なのかを検証をしているということでありまして、現地を調査するとか、その原因を調査するような作業をやっているわけではありません。

意見 そういったことを証明するのは、その土地の所有者が自分で証明しろと、こういうことなんですよ。ですから多額の費用を払って調査会社に依頼した、それもほんとおかしな話だなと思います。本来そういう疑いがかったならば、川越市としてはちゃんとやっているのです。そういったことはありませんと、はっきり伝えてもらいたい。会議をずっと続けておりますが、私見の域から出ない。科学的な根拠を持って、きちっと学術的なものを含めて回答してくださいと言っておりますが、いまだかつてその見解は出ておりません。私たちが出した書類を精査して、実際それが妥当かどうかということを検討している、そういった回答だったかと思いますが、それは非常におかしいことだと私は思っております。

川合市長 すごく太い水道管が破裂して、目の前の道路に大きい穴があいているというような漏水ではなかった、じわじわと時間をかけて漏水していったという報告を受けています。少なくともだれが見ても、この漏水の結果穴があいてしまったということが言えるような状態ではなかったという報告を受けております。市の立場としては、もしそういうご主張をされるのであれば、それを証明していただかなければなりませんと言わざるを得ないのです。それはご承知していただきたいと思います。

《市町村合併》

意見 川越市は他の市町村と合併するという話も聞いているんですが、川島とか鶴ヶ島とか、その話をお伺いしたいと思い質問させてもらいました。

川合市長 合併問題については、私は、選挙の段階では真剣に検討していきますという立場を表明させていただきました。就任して半年たつのですが、まだ合併問題には手がついておりません。

4月ぐらいに川島の町議さんたちから、今度招待するというお話をいただきまして、合併の話だろうかと予測しつつ待っていたら、その後招待が具体化しませんでした。

川島のほうも、昨年ぐらいまでは川越市との合併に関して強い要望を持っている人も

いらっしゃったように思うのですが、この1年ぐらいの間はかなりトーンが下がってきているような節もございまして、私もまだ手をつけてないというところでございます。しかしながら、やや長期的展望で、ある程度の広い範囲でまとまっていくのがいいのかなという考えを持っておりますので、これから皆様方のご意見を聞きながら検討を進めていきたいと考えております。

意見 鶴ヶ島はどうなんですか。

川合市長 鶴ヶ島の市長さんはときどき冗談を言っておりますが、本心なのかどうかよくわからない部分があって、まだその問題については話をしておりません。

意見 そうすると見込みがないということですか。

川合市長 今の時点としては、周辺の自治体のご意向を伺う前にこちらで方針を立てる必要があると思っています。その作業にまだ着手していない、そういうところでございます。ただ、それは近々手をつけ始めていきたいとは考えております。

意見 デメリットとメリットを全部総合的に考えなければということですね。

川合市長 先にそういうことも検討した上で、一緒になりたいからよろしくという申し入れをしていくということになるのではないかと思います。

《職員の削減》

意見 市の職員を3分の2、欲を言いますと半分にさせていただきたい。仕事をしている人は正直言って半分です。部課長さんにおきましてはお茶を飲んで、新聞読んで、本を読んで終わりです。何時に行っても同じです。

これは全部関連していることなんです、昨年私は土地を売ったんです。それによってある程度の金額が入ったんですけれども、その入ったことによって今年度から、子育て支援が1通の通知でカットされました。土地を売るというのはそれなりの事情があるから売っているわけなんです。それに対して市民税もかなりの金額で上がっていきまして、今年度の納税のことで私は今頭を悩ましている状態です。

この土地を売ったときのことに関連して申し上げますと、その売った土地の中にゆずりあい道路というところが含まれておりました。もう私と川越市との賃貸借契約はその時点で解除されますが、解除の通告を持ってくるときに3名で来られました。それだけ仕事がないということなんですね。紙切れ1枚持ってくるのであれば、1人で十分です。

平成19年度の市の財政は税収が547億円で、人件費が204億円です。市長さん、副市長さんの報酬をカットしても焼け石に水なんですよ。もう少し考えていただきたい。

川合市長 1人で済む仕事を3人でやっている、そういう点につきましては調査をした上で、そういうようなことがあれば、余剰人員はほかの部署に回すとか、そういう形で

対応していきたいと考えております。

私も就任してちょうど半年たつのですが、さまざまなご意見をちょうだいします。例えばごみ収集車ですが、民間は1台に2人乗車で回っているのに市は3人で回っているので削減できるのではないかというご意見もございます。そういう点については検討して、できる範囲で削減をしていくという方向で今動いているところでございます。

多くの職員はみんなまじめに働いています。それは間違いございません。中には不心得者もあらうかと思いますが、そういう人に対してはきちんと対応していきたいと考えております。削減できるところは削減していく。もちろん人員もきちんと削減の方向で努力をしているということは申し上げておきます。

染谷建設部長 ただいまのご意見は、市長が言うように戻りましたら調査をさせていただきたいと思いますが、ただ一言、部内にはゆずりあい道路の担当もいますし、舗装関係に対応する担当等いろいろございます。車は1人1台というわけではございませんので、笠幡方面に行く職員が一緒の車で行ったということだと思うのですが、これは調査いたします。

意見 ゆずりあい道路を解除したときの文章なんですけれども、解除通告というのはどういうことなんですか。賃貸借契約というのは五分と五分ですよね。私はこの文章の書き方に憤りを感じているんです。

染谷建設部長 ただいまの意見につきましても確認しまして、直すところは直していきたいと思います。

意見 基本的な考え方が違っているんですよ、民間人と。

川合市長 今のご指摘につきましては、早速検討しまして、通常、民間では解除の場合は解除通知という言葉を使うんですよ。そういう言葉に置きかえていくようにいたします。改善すべき点はきちんと対応していきたいと考えますので、ご了承いただきたいと思います。

《職員》

意見 職員のことをお願いしたいんですが、市民との間でいろいろトラブルが起きています。そのことについて舟橋市長さんに書面を送りました。ことしの5月に川合市長さんにもお会いさせていただきまして書面で出しました。職員は4月1日から新しくなるわけですよ。そのときに異動させてほしいということではなくて、一日も早く異動させてくださいということをお願いを出してあります。

そういうトラブルメーカーが1名おるおかげで、ほかのいい職員さんもいやになっちゃって、みんな異動願いを出しております。その異動願いが先に有効になりまして、そ

の悪いのが居座っております。そういうどうしようもない職員がいっぱいいるんです。今、市の部長さん、いっぱいいらっしゃいますが、自分の部下が本当にまじめにやっているのかどうかということ、もう少し見直していただきたい。もしそういう働きがないのであったら給料をカットしていただきたい。そうしていただかないとしようがないと思います。市長さん、お願いします。

川合市長 ことしの5月に書面をいただいたのはよく覚えております。どうも対人関係がうまくいかない人であって、仕事ができないとか、仕事をしないという人ではないように私は受けとめているのですが、ただ、前年度にもそういうご要望が出されているということも承知しておりますし、今年度もそういう書面をちょうだいしたということで承知しております。対応はいたします。

意見 それと上司が1人転勤になりまして、新しい方が来ました。おとなしい人で、新しく就任したばかりなので右も左もわかりません。前からいる人が指示をしていて、その上司が孤立してしまい、ついに病気になって今休んでおります。

早くそういう対応をしていただきたい。これから恐らく大変なことになるんじゃないかと思っていますが、対応の仕方によって、協力するかしないか判断したいと思います。

《自治会役員の担い手》

意見 自治会長を2期4年、来年の3月で任期になります。去年1期2年が終わったときに自治会長を決めてたんですが、なかなか決まらず、もう1期ということでやっておりますが、今もって次の自治会長が人選できません。来年の1月から2月ごろまでにはある程度のことを決めなくちゃいけないんです。

これは市に相談したところで、市と自治会は連絡協調ということが手引に書いてありますので、自分たちで考えてほしいということではないかと思いますが、意見として言わせていただきました。

清水市民部長 市には280を超える自治会がございますが、会長さんには大変ご苦労をいただいて、いろんな活動をいただいているわけです。口で言うのは簡単ですけども、地域のためにご貢献いただいているということは非常に感謝を申し上げる次第でございます。また、地域の皆様にとりまして、どなたか引っ張っていく中心的なイニシアティブをとれる、そういう方がおりませんと、なかなかスムーズに展開していかないという実態もあろうかと思います。

役員のなり手がいないというのは他の自治会からお伺いしてございます。その点についてまだ説明不足な点があろうかと思いますが、何らかの会議の際に、いつでも結構ですから呼びいただきまして、改めてご説明をさせていただければと思います。そ

のことによって多少なりともご理解が得られればと感じてございますので。これは大きな課題、重要な問題でございますので、そういったことでお願いしたいと存じます。

《運動施設の予約方法》

意見 野球場とテニスコートについてはコンピューターによる申し込み手続きがなされているということで、かなり進歩しておるかと思います。公民館もそのようになっているようでございます。ところが河川敷の運動施設だけは、利用する前月の初日にくじ引きという形になるそうなので、各種団体が、試合が近い時期には、前日の夜から上戸運動公園管理事務所のところで皆さんテントに泊まって、朝になるのを待って申し込みをしているという状況のようでございますので、その辺バランスも含めて検討いただければと思います。

鹿ノ戸都市計画部長 河川敷の運動場が少ないというのは、十分認識しているところでございます。そして今、ご指摘がありましたように上戸運動公園のところで待っているという状態、前の日からというのは、私もそこまでは認識が足りなかったのですが、また戻りまして、その辺のところをよく確認させていただきまして、何かよい方法があれば考えていきたいと思っております。

《学校区》

意見 新町の学校区は霞ヶ関西小なんですけど、川越西小に通う子どもがいる人は芳地戸の自治会に入ります。子どものいない人は新町自治会に入ります。それで、新町自治会が分断されちゃうんですね。子どもさんがいる人からすれば、川越西小へ行ったほうが近いんだということのようですが、昔から新町に住んでいる人は、そこから 10 メートルか 20 メートルきり離れてないのに霞ヶ関西小に行っているということなので、近さからの観点ではできないと思うんです。そうしないとその地区だけぎざぎざになっちゃうんです。早急に教育委員会のほうで解決をしていただきたいと思います。

有山教育総務部長 担当の学校教育部長は来ておりませんが、今お話にあった指定校の変更につきましては、今の段階では通学路が大変危険だということで対応しております。おっしゃられるように自治会と学校区が違っているというのは、今後の課題になるかと思っておりますので、お話のあったことをもう一度伝えて検討させていただきたいと思っております。